



## 2019年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年1月31日

上場取引所 東

上場会社名 カップ・クリエイト株式会社

コード番号 7421 URL <http://www.kappa-create.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小澤 俊治

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長兼経理部長 (氏名) 小林 元樹 TEL 045-224-7095

四半期報告書提出予定日 2019年2月14日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年3月期第3四半期の連結業績（2018年4月1日～2018年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	58,143	△2.3	479	25.7	655	23.1	419	14.6
2018年3月期第3四半期	59,532	△0.6	381	-	532	-	365	-

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 422百万円 (21.3%) 2018年3月期第3四半期 348百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	8.60	8.59
2018年3月期第3四半期	7.51	7.51

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第3四半期	31,311	12,129	38.6	247.97
2018年3月期	32,027	11,914	37.1	243.70

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 12,091百万円 2018年3月期 11,880百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	-	0.00	-	5.00	5.00
2019年3月期	-	0.00	-	-	-
2019年3月期（予想）	-	-	-	-	-

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

(注) 2019年3月期の配当につきましては、現在、未定です。

### 3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	81,533	3.6	1,631	331.5	1,714	231.7	798	△1.5	16.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー 社 (社名) 、除外 ー 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期3Q	49,414,578株	2018年3月期	49,414,578株
② 期末自己株式数	2019年3月期3Q	638,848株	2018年3月期	665,048株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期3Q	48,761,942株	2018年3月期3Q	48,718,358株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（日付の表示方法の変更）

「2019年3月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、足踏み状態を繰り返しながらも、東京都心部の再開発需要や災害復旧需要、インバウンド消費などに支えられ、緩やかながら景気拡大基調が続いたとみられます。しかしながら米中貿易戦争によって顕在化した中国経済の減速の影響で、我が国経済の重要な牽引役の一つであった設備投資がこのところ急速に鈍化しております。また個人消費につきましても、雇用・所得環境の好転が実質可処分所得の増加に結び付かず、将来の生活に対する懸念もあって、力強さを欠いたまま推移いたしました。

外食業界におきましては、人件費や物流費、食材価格などの高騰に加え、消費者のニーズの多様化や、こだわりのある商品・サービスか否かで支出の多寡を明確に峻別する傾向の広がり、コンビニや食品宅配サービスに代表される異業種との競合激化など、予断を許さない状況が続きました。

このような状況の中、当社の主力事業である回転寿司事業におきましては、より魅力的かつ付加価値の高いメニュー・商品開発・販売を基盤としつつ、ブランド認知向上も含めた様々なプロモーション活動と、店舗オペレーションの一層の強化を通じて、既存顧客の満足度向上と新規顧客の獲得に努めた事で、既存店昨対比は堅調に推移いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は581億43百万円(前年同四半期比2.3%減)、営業利益は4億79百万円(前年同四半期比25.7%増)、経常利益は6億55百万円(前年同四半期比23.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億19百万円(前年同四半期比14.6%増)となりました。

次に事業の種類別セグメントの概況をご報告申し上げます。

#### <回転寿司事業>

メニュー・施策におきましては、目玉商品の本ずわい蟹を取り入れた「今年も、本ずわい蟹入荷！」フェアや、のどくろやヒラメなど、冬のごちそうネタが盛り沢山の「冬の美味しい定番寿司」フェアなど、旬・こだわりの素材を活かした商品を販売してまいりました。また、多様化するお客様の嗜好にお応えすべく、サイドメニューの強化にも継続して取り組み、累計150万食を突破した有名店監修の「本格ラーメンシリーズ」、さらに新たに誕生した「Rich Sweets(リッチスイーツ)シリーズ」では、第一弾として、将軍ご用達の茶葉「本山茶」を使用したスイーツを展開するなど、特徴のある商品開発に注力し、新たな来店動機の創出に成功いたしました。

また、プロモーション活動におきましては、引き続き回転寿司らしい「美味しさ」・「楽しさ」を表現したTVCMを放送すると共に、冬の商品戦略発表会を行い、原点の100円皿強化に向けた取組などを紹介するなどして、新たな顧客層への認知拡大、来店動機の喚起・充実に取り組んでまいりました。

店舗オペレーションの観点では、引き続き商品・サービスのクオリティ向上を最優先としながら、商品提供時間やウェイティング・タイムの短縮に向けた活動を強化し、不満足要因の排除とお客様満足度の持続的な向上に取り組んでおります。

また、積極的に店舗資産の活性化を図るべく、不採算店舗を中心に当第3四半期連結累計期間において16店舗を閉店した結果、当第3四半期末の店舗数は332店舗となりました。

以上の結果、回転寿司事業の売上高は483億68百万円(前年同四半期比3.9%減)となりました。

#### <デリカ事業>

デリカ事業におきましては、コンビニエンスストアを中心とした寿司弁当・調理パン等に関し、既存顧客における取扱商品の拡充、新規取引先の発掘など販売強化に取り組むと共に、各拠点間での生産移管等を通じて、生産能力の充実と効率化を図っております。

以上の結果、デリカ事業の売上高は97億75百万円(前年同四半期比6.5%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間における総資産は313億11百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億15百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が8億92百万円減少、売掛金が1億64百万円増加、未収消費税等が2億91百万円減少、工具、器具及び備品が3億65百万円増加したことによるものです。

#### (負債)

当第3四半期連結会計期間における総負債は191億82百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億30百万円減少いたしました。これは主に、未払金及び長期未払金が3億40百万円増加、長期借入金及び1年内返済予定の長期借入金が6億21百万円減少、社債が5億55百万円減少したことによるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間における純資産は121億29百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億14百万円増加いたしました。これは主に、配当金支払による2億43百万円減少、親会社株主に帰属する四半期純利益4億19百万円により利益剰余金が増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成30年4月27日の「平成30年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

尚、今後の業績の推移等を慎重に検討した上で、変更が必要な場合には適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,617	6,724
売掛金	2,080	2,244
商品及び製品	340	517
原材料及び貯蔵品	299	355
未収消費税等	345	53
その他	1,314	2,002
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	11,996	11,897
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	29,259	28,196
機械装置及び運搬具	4,229	4,475
工具、器具及び備品	4,528	4,893
土地	2,986	2,365
リース資産	2,120	2,182
建設仮勘定	58	2
減価償却累計額	△30,476	△29,612
有形固定資産合計	12,707	12,504
無形固定資産		
	287	327
投資その他の資産		
投資有価証券	852	852
敷金及び保証金	5,779	5,269
その他	324	395
貸倒引当金	△9	△9
投資その他の資産合計	6,946	6,507
固定資産合計	19,942	19,340
繰延資産		
社債発行費	88	73
繰延資産合計	88	73
資産合計	32,027	31,311

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	3,874	3,932
短期借入金	249	99
1年内返済予定の長期借入金	826	804
1年内償還予定の社債	1,110	1,110
未払金	1,573	2,283
未払費用	1,764	1,746
リース債務	393	317
未払法人税等	427	287
未払消費税等	404	360
賞与引当金	159	79
株主優待引当金	102	187
店舗閉鎖損失引当金	155	18
その他	267	685
流動負債合計	11,309	11,912
固定負債		
社債	3,795	3,240
長期借入金	800	200
長期未払金	2,234	1,865
長期預り保証金	93	106
リース債務	438	409
資産除去債務	1,388	1,388
繰延税金負債	14	14
その他	38	45
固定負債合計	8,803	7,269
負債合計	20,113	19,182
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,800	9,800
資本剰余金	2,263	2,275
利益剰余金	445	620
自己株式	△624	△599
株主資本合計	11,884	12,096
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△4	△4
その他の包括利益累計額合計	△4	△4
新株予約権	34	34
非支配株主持分	—	3
純資産合計	11,914	12,129
負債純資産合計	32,027	31,311

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
売上高	59,532	58,143
売上原価	28,622	28,593
売上総利益	30,910	29,549
販売費及び一般管理費	30,528	29,070
営業利益	381	479
営業外収益		
受取利息	42	39
受取配当金	44	36
受取家賃	167	170
自動販売機収入	47	42
為替差益	29	—
雑収入	63	122
営業外収益合計	395	411
営業外費用		
支払利息	45	33
社債利息	19	27
賃貸収入原価	148	145
雑損失	31	30
営業外費用合計	244	235
経常利益	532	655
特別利益		
固定資産売却益	26	66
受取和解金	36	—
特別利益合計	62	66
特別損失		
固定資産除却損	37	85
減損損失	51	—
店舗閉鎖損失引当金繰入額	13	13
その他	2	—
特別損失合計	104	98
税金等調整前四半期純利益	491	622
法人税、住民税及び事業税	188	199
法人税等調整額	△62	—
法人税等合計	125	199
四半期純利益	365	423
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	3
親会社株主に帰属する四半期純利益	365	419



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益	365	423
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1	△0
為替換算調整勘定	△19	—
その他の包括利益合計	△17	△0
四半期包括利益	348	422
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	348	418
非支配株主に係る四半期包括利益	—	3

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。